

saveMLAK ニュースレター 第 77 号

震災アーカイブの動向

阪神淡路大震災から 28 年、東日本大震災から 12 年が経ちました。今なお震災の影響を受けている皆様にお見舞い申し上げます。

年月が過ぎるにつれ、震災の状況を知らないという人が増えています。もちろん、被災の経験はないに越したことはありません。しかし、災害に備えるためには、どんなことがその時起きたのか？という情報が必要になります。成功も失敗も、記録されてはじめて次に生かせるのではないかと思います。

2022 年 10 月、「東日本大震災アーカイブ Fukushima」が閉鎖 (<https://current.ndl.go.jp/car/46931>) という記事をカレントアウェアネスで読みました。アーカイブも閉鎖するのだな……と思うと同時に、今、震災関係のアーカイブはどうなっているのかが気になりました。そこで、「国立国会図書館東日本大震災アーカイブひなぎく」 (<https://kn.ndl.go.jp/> 以下「ひなぎく」) の検索対象データベース等一覧 (<https://kn.ndl.go.jp/static/db>) に載っている機関について確認してみました。

「ひなぎく」の検索対象データベース等一覧は「ひなぎくへメタデータを提供している若しくは、インターネット上で公開されているアーカイブ等を収録」とあるので、震災に関するアーカイブの一覧としては網羅性が高いと考えました。

この一覧には、現在 76 機関のアーカイブ等が掲載されています。76 機関中 6 機関は 2023 年 3 月現在、閉鎖しています。閉鎖した 6 機関のうち 3 機関のデータはひなぎくに承継されています。のこりの 70 機関のうち、ひなぎくとメタデータ連携を行っている機関が 55、ひなぎくでコンテンツが見られるのが 15 機関となっています。「メタデータ連携」とあるように、各機関がデジタルなコンテンツをウ

ェブ上に掲載しているいわゆる「デジタルアーカイブ」に限らず、図書館にある震災コレクションの目録の提供といった連携がされているケースが相当あります。なお、ひなぎくは「東日本大震災アーカイブ」となっていますが、阪神淡路大震災に関するアーカイブが 3 機関、中越地震に関するアーカイブが 3 機関、2014 年神城断層地震（長野県）に関するアーカイブが 1 機関、熊本地震に関するアーカイブが 1 機関含まれています。

閉鎖した 6 機関を除いて、アーカイブをデータの収集地域別に分けてみたところ、表 1 のようになりました。国や専門機関、あるいは有志による設置都道府県の県域に限定しないアーカイブがかなりあることがわかりました。

表 1 データの収集地域別アーカイブ数

地域	アーカイブ数
青森	1
岩手県	7
宮城県	10
福島県	10
埼玉県	1
千葉県	1
新潟県	3
長野県	1
三重県	1
兵庫県	3
熊本県	1
地域を県域に限定しないアーカイブ	31
合計	70

これらのアーカイブのデータは膨大なものになります。「ひなぎく」というポータルサイトがあることで、これらを横断して見ていくことができます。かつての災害の情報をもとに、これから来るであろう災害による被害を少しでも減らしていく努力ができる。そのために、過去の災害を振り返る時間を持とう。大きな災害のあった月を迎えるたびにそう思います。

saveMLAK では、博物館・図書館・公文書館・公民館の被災情報を収集しています。災害がないに越



したことはないのですが、いざ災害が起きたときに、速やかに・適切な支援に結びつくよう、情報発信しています。ぜひ参照してみてください。また、記録した被災情報が積み重なることで、過去の災害のアーカイブにもなるのではないかと思います。情報発信をしながらアーカイブも作っていく、そんな saveMLAK の活動が今後も発展していくよう、皆様のご参加もお待ちしています。

【子安伸枝】

saveMLAK 報告会 2023 の開催について

「saveMLAK 報告会 2023 ～社会教育・文化施設の救援・復興支援～」を次の日程で開催予定です。プログラムは現在検討中です。Meet Up で話し合っていきますので、アイデアなどお寄せください。

開催日：6月25日（日）午後 *予定

開催方式：オンラインを軸に検討

saveMLAK 会計報告 (2023年3月10日時点)

支出

3/3 savemla.jp ドメイン支払 3,982 円
振込手数料 220 円
3/10 savemlak.jp ドメイン支払 3,982 円
振込手数料 220 円

残高

ゆうちょ振込専用： 71,440 円
ゆうちょ総合： 862,389 円
みずほ： 4,890 円
残高合計： 938,719 円

【saveMLAK ファンド係】

2023年1～3月の出来事と今後の予定

1月16日（月）
第141回 Meet Up を開催

2月13日（月）
第142回 Meet Up を開催

2月25日（土）～3月2日（木）
COVID-19の影響による図書館の動向調査
(第35回目)

3月11日（土）～
Editathon-博物館基本情報更新 2023 を開催

3月15日（水）
第143回 Meet Up を開催

4月18日（火）
第144回 Meet Up を開催予定

6月25日（日）
saveMLAK 報告会 2023 を開催予定

編集後記

今号では、子安さんが「震災アーカイブの動向」と題し、各所で運営されている震災アーカイブについて調査整理された結果を報告してくださいました。時間の経過により、閉鎖されてしまったアーカイブが出てきていることから、記録を維持する難しさを痛感します。「COVID-19の影響による図書館の動向調査」は、ともすれば消えてしまうであろう各時点の状況を記録する取り組みであり、継続的な実施に大きな意味があると思っています。また、「Editathon-博物館基本情報更新 2023」を通じて情報更新していると、新規開館した博物館や閉館してしまっただ博物館などの変化を感じます。

saveMLAK の活動は継続的な情報収集・整理の大切さを教えてくれます。

【あこたかゆき：編集担当】

編集発行：saveMLAK プロジェクト
発行日：2023年3月21日（火）（第77号）
発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル
さくら WORKS<関内>407
アカデミック・リソース・ガイド株式会社内
saveMLAK プロジェクト
E-mail：pr@savemlak.jp
URL：<https://savemlak.jp/>

